

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：一般社団法人しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市下之条 804-39
評価実施期間： 令和3年9月1日から令和4年3月28日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） *B2020068 *B16025	

2 福祉サービス事業者情報（令和3年11月現在）

事業所名：地域密着型介護老人福祉施設 ゆめの里朝日 (施設名)	種別：地域密着型介護老人福祉施設 入所生活介護
代表者氏名： (管理者氏名) 百瀬 清志	定員（利用人数）： 30名 (長期28名、ショート2名)
設置主体：社会福祉法人松本ハイランド 経営主体：	開設（指定）年月日： 平成21年 4月1日
所在地：〒390-1104 東筑摩郡朝日村大字古見 2422-3	
電話番号： 0263-99-5066	FAX 番号： 0263-99-5067
電子メールアドレス：asahist-m@yumenosato.info	
ホームページアドレス：https://www.yumenosato.info	
職員数	常勤職員： 22名 非常勤職員 4名
専門職員	生活相談員 1名
	看護師 2名
	管理栄養士 1名
施設・設備 の概要	(居室数) 個室 30室 (設備等) 相談室、食堂、キッチン、リビング 浴室(一般浴、介護浴室)、地域交流スペース

3 理念・基本方針

- わたしたちは、地域と共に歩み、支え合い、助け合う地域福祉をめざします。
- わたしたちは、一人ひとりの尊厳をたいせつにし、自分らしいくらしの実現に向けて支援します。
- わたしたちは、笑顔と思いやりの心、責任と誇りを持ちより高い目標に向かい、惜しみない努力をします。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

- 法人の第5次中期経営計画(令和元年～令和3年)の期間は、コロナ禍の中でもたらされた様々な影響により、活動の制限、制約を余儀なくされましたが、法人としてこうした状況下の中で取り組むべき課題を検討し明確にしています。中でも、感染症防止に向けた取り組みとして、衛生管理の徹底、リモート会議・面談に向けた ICT 環境

整備、感染症時の事業継続計画(BCP)の策定等、法人運営に関わるリスクに備えた対応が検討され整備されています。

・事業所ではコロナ感染症により、活動を制限しなければならない状況の中で朝日村をはじめとした行政機関や地域包括支援センターの協力のもとでボランティアからのメッセージや演奏の模様を、スクリーンを通して映像で流し利用者に鑑賞していただく等、コロナ禍にあっても地域との密接な関係作りを模索し継続されていました。

・事業所の職員組織の中に(人権侵害防止・身体拘束適正化委員会、機能訓練委員会、褥瘡対策委員会、感染症対策委員会等)を設置して、各委員会が決めたテーマについて職員会での研修を実施しています。研修に参加できなかった職員には、書面だけでなく直接口頭で伝え、共有を図っています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数 (前回の受審時期)	初 回 (年度)
----------------	-----------

6 評価結果総評 (利用者調査結果を含む。)

◇特に良いと思う点

(1) 家族とのよりよい関係が構築されています。

○職員は利用者が入居される際に、一人ひとりの生活歴等について書面を通して確認しているが、「利用者を深く知りたい」という思いから、書面では計り知れない情報を家族から吸収して支援につなげるなど、家族との良好な信頼関係を築いています。

(2) 利用者の個別支援が組織として継続的に実施されています。

○家族が事業者に「畑仕事をしている場面を利用者に見せてやりたい、買い物、外食、墓参りへ連れていきたい」等の個別の要望に対し、実現する取り組みを事業所の開設時からの基本的な考えとして根付き継続しています。

(3) 地域で支え支援していく仕組みが定着しています。

○長引くコロナ禍でも、事業所を取り巻く朝日村や、JA等の関係団体によるコロナ感染症に配慮した活動が実施されています。対面での交流は困難な状況ではありますが、関係機関と事業所が利用者の楽しみの形を創造し、地域とのつながりを更に進めていくことを期待します。

(4) 法人として、人材育成と人材確保に向けた取り組みが計画的かつ組織的に行われています。

○数年後に予想される要介護者の増加に対して、介護職の人手不足は昨今の課題でもあります。当法人では令和2年度、離職者が入職者を上回り職場定着が課題となったが、職員の資質の向上と職場定着の一環として、資格取得の助成金制度を設けて、働き続ける人材の確保と新たに入職してくる若い力の確保に努めています。

○次世代育成支援対策推進法に基づいて、松本ハイランドとして女性職員比率が7割である現状を踏まえ、・職員が仕事と家庭生活(子育て含む)を両立させることが環境づくり・妊娠、出産、育児、復職時における支援、職員の能力が十分に発揮できる働きやすい職場環境の整備・次世代育成、地域交流のための体験学習、ボランティア、職場実習等の積極的受け入れを掲げ、令和2年より、具体的な行動計画を作成しています。先駆的な取り組みとしての実績を今後広く発信して頂くことを期待しています。

(5) 職員の心の健康の保持増進に取り組んでいます。

○国の「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に従って、心の健康づくり基本方針、活動目標、健康づくりのための実施事項、推進体制が整備され、実施計画に基づいて全職員によるセルフケア研修、管理職によるラインケア研修、ストレスチェックの実施、自発的な相談ができる環境づくりが実施されており、職員やその家族を支える取り組みが行われていました。

(6) 利用者が安心して生活している様子が伺えました。

○利用者調査において面接させていただいた6割の方がゆめの里朝日でのサービスに満足されていました。利用者からは丁寧な対応をしてくださる職員への感謝の言葉が多く聞かれました。何よりも遠くの施設から自宅のある近くの施設に入居できたことの安心感について話されていました。

◇特に改善する必要があると思う点

(1)利用者へのよりていねいな説明をお願いします。

○利用者との面接の中で、ご自身のサービス計画の内容や支援内容について関心や理解の薄い方がみられました。サービス計画は支援の要になるものですから理解いただける工夫や分かりやすい説明の検討をお願いします。

(2)職員への法人の経営状況や人事管理の内容、中長期事業計画の理解と共有を図ってください。

○法人として堅実な経営活動、人事管理、見通しを持った明確な事業計画が作成され実施されています。しかし、職員による自己評価では多くが知らない、分からないといった評価結果が伺えました。利用者支援が主たる業務にある職員には比較的関心の持てない内容かと思いますが、法人の職員として把握して頂ける手立ての検討をお願いします。

(3)利用者の尊厳に配慮された対応をお願いします。

○利用者調査より、職員の丁寧な対応に多くの利用者が感謝されている一方で、職員による自己評価では半数近くができていないという結果でした。どのような場面においての事象かを分析して、状況の把握と対応策を検討してください。

(4)職員のメンタルヘルスのサポートに配慮をお願いします。

○介護現場に携わる職員は、利用者や同僚、部下や上司といった人間関係において様々なストレスを抱えることが多々あります。現在、法人としてまた事業所の取組みとして、職員の心の健康の維持には計画的な研修体制を整えて取り組んでいる所です。しかし、自己評価結果より利用者の終末期ケアに携わる職員は、メンタルな部分でのサポートの必要性を感じていますので体制を整えて対処していただきますようお願いいたします。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目（別添 1）
- ・ 内容評価項目（別添 2）

8 利用者調査の結果

聞き取り方式（別添 3 - 2）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）